



平成29年度府中市議会全定例会が終了。

12月4日～12月19日の16日間で府中市議会第4回定例会(12月議会)が開催されました。

基地等跡地対策特別委員会

● **調布飛行場に関して** 平成27年7月に起きた調布飛行場での墜落事故に関して以下の報告がありました。

● 東京都による3件の追加調査

- ・「飛行回数が多い機長が運航する航空機への搭乗者への聴き取り調査」
- ・「パイロットに対する再調査」
- ・「事故機・関係会社が所有する機体への搭乗者に対する聴き取り調査」

⇒遊覧飛行や体験飛行等の飛行内容における不適切な事例は発見されなかった。

⇒遊覧飛行などが疑われる不適切な飛行が散見された。

⇒調査を受け、東京都としては航空法違反が疑われる飛行については、国に情報提供をしていく方針を取ることに。

● 東京都の「新たな取り組み」として

- ・自家用機操縦者は、離陸前に都指定の専門家に**チェックシート**を提出する。
- ・必要滑走距離の基準を厳しくする「**調布ルール**」を、自家用機を対象に導入。
- ・調布飛行場を利用する航空機について、離着陸予定を前日中に公表するとともに、離着陸実績を1週間分まとめて翌週に、ホームページで公表していくこととする。

● 墜落事故の被害者救済のための仕組み

都営空港を離着陸した航空機が、都内で事故を起こした場合に、迅速に被害者が救済されることを目的として、以下を創設。

- ・当座、必要となる資金等を迅速に被害者に支払う「**一時支援金**」
- ・速やかな生活再建のため、住宅の建てかえや補修等の資金を貸す「**貸付金**」



委員長として、引き続き地元3市の意見と協力をして安心安全に努めるよう要望しました。

● 府中基地跡地に関して



● 「府中市基地跡地留保地利用計画検討協議会」

10/12に第1回が開催された。有識者や市民9名で構成する市長の附属機関で、「府中基地跡地留保地利用計画の策定に関する事項」に関して、平成31年3月29日までに答申をする。

● 「府中基地跡地留保地活用検討プロジェクトチーム」

庁内におけるプロジェクトチーム。「隣接道路空間検討作業部会」を設置し、「府中基地跡地留保地の隣接道路における、歩行者空間拡幅に関する事項」の調査及び研究を行っている。

隣接する小金井街道は歩・車道ともに狭いため、極めて危険な箇所があります。安全な空間をつくるため、拡幅等を速やかに進めていく必要があるため、引き続き近隣の皆さんからのご意見を頂きながら要望してまいります。

● 法務省関連施設及びその跡地に関して

- **矯正研修所、アジア極東犯罪防止研修所(晴見町)**は移転が完了。平成30年3月末に、法務省から財務省へ引き継ぐ予定。
- **関東医療少年院(新町)**は平成31年1月末の移転先(昭島)の施設の竣工を受け、平成31年4月以降に移転予定となっている。

等の報告を受け、了承致しました。

文教委員会

● 陳情 政府に「核兵器禁止条約」へ参加を求める意見書の提出についての陳情

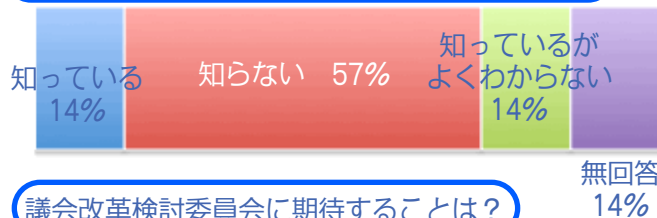
「府中きすげの会(原爆被爆者の会)」の皆さんから提出された陳情。2017年に国連で採択された「核兵器禁止条約」へ、日本が参加することを政府に求める意見書を府中市議会として提出するという陳情。須山は委員として会派を代表して「**軍事的な初の被爆国である日本が保有国と非保有国の橋渡しをすべき**」との視点から採択を主張しました。残念ながら賛成少数により不採択になってしまいました。しかし、引き続き府中市からしっかりと平和を訴えていくために活動を続けて参ります。



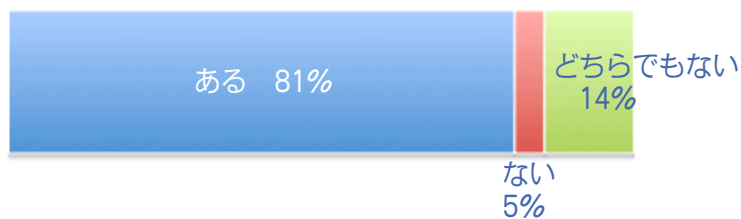
議会改革検討委員会

現在、府中市議会では「議会基本条例」の策定に向けて各会派の議員が代表して議論を進めております。
CivicNEWS Vol.21で「議会改革」や市政への関心事に関するアンケートを実施させて頂いた結果をお伝え致します。

議会改革検討委員会の議論は知っていますか？



府中市議会に関心はありますか？



議会改革検討委員会に期待することは？

- ・市民に対し、常に関心を持ってもらえる魅力的な活動。
- ・闊達な議論
- ・これまでどんな議論がされてきたのかわからない。等

今回のアンケートの結果としては市議会に興味はある一方で市議会の改革を進める検討委員会の議論は、まだまだ市民の皆さまには周知されていない事が分かりました。

まずは開かれた議論を進め、皆さまのご意見をしっかりと市政に反映させて参ります。ご協力ありがとうございました。

一般質問「子育て世代包括支援センターのスタートに向けて」

平成30年4月からスタートする「子育て世代包括支援センター事業」。妊娠・出産・子育てに関して、ワンストップで支援を受けられることや、全妊婦さんが保健師の面接を受けられるようになるなど変わります。

Q.どういった考えでこの事業をスタートさせていくのか？

A.妊娠から出産、子育て期まで途切れることなく、(行政の支援も)子育て家庭に寄り添い、継続的かつ包括的に行っていく必要がある。このため、母子保健の拠点である保健センターと、子育て支援の拠点である子ども家庭支援センター「たっち」を緊密に連携させ、「子育て世代包括支援センター」として位置付けることにより、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない支援を行いたいと考えている。

支援にあたり、母子健康手帳の交付時に保健師が全ての妊婦の方を対象に面接を行い、その後の支援の基礎となる支援台帳を作成するとともに、特に手厚い支援が必要と判断した場合には、個別に支援プランを作成し、関係機関と連携して支援を行うなど、全ての家庭が安心して出産、子育てができる環境を整えていく。

たかしの眼

この事業は支援が必要な人はもちろん、支援が必要と判断されなかった人も、その人たちに合った支援を行っていくための事業としていく必要があります。そのためには市民協働も重要で、たくさんの市民が関わっている「子育てひろばの和」などに参加されている方々に権限等をしっかりと与え、関わって頂くことも必要だと考えます。

妊娠・出産・育児をすることが「幸せなこと」になるような府中を目指してまいります。



【4月からの主な変更点】

- 全妊婦さんが母子手帳を交付されるときに保健師の面接を受けることとなります。
そのため、今まで市役所や文化センター等で交付していた母子手帳が保健センターのみで交付されることとなります。
- 妊娠・出産・子育てに関して、保健センターと「たっち」で子育て相談や支援を受けられることとなります。

Q.地域とのつながりや子育てをする地域づくりが重要になってくると思われるが、どの様に構築していくのか？

A.現在、地域における子育て支援の拠点として、市内6エリアに1か所ずつ、基幹保育所と併設で、地域子育て支援センター「はぐ」を整備する計画を進めており、本年10月から、2か所において地域での子育て家庭への支援を開始した。

「はぐ」では、乳幼児を養育中の方や妊娠中の方を対象に、専用のひろば室で、親子が集まり交流できる場を提供するほか、子育てに関する相談、講座などを行っており、孤立しがちな在宅子育て家庭にとって、身近な地域でいつでも、誰もが立ち寄ることができる安らぎの場となっている。

今後、身近な地域における子育て支援の拠点として「はぐ」の整備を進め、子育て世代包括支援センターと連携した支援体制を構築するとともに、地域における子育て支援に関わる団体や機関とのネットワークの構築を図り、子育てしやすい地域づくりを進めていきたいと考えている。

平成30年第1回府中市議会定例会(3月議会)は
2月19日(月)開会予定です。

また、府中市議会では本会議のインターネット配信を行っております。下記URLからアクセスして下さい!

府中市議会HP <http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp/>

須山たかしプロフィール



1980(昭和55)年11月6日生まれ(37歳)。府中市晴見町育ち・在住。
明星幼稚園、桐朋小・中・高校、早稲田大学社会科学部卒業。早稲田大学大隈塾においてジャーナリスト高野孟に師事(1期生)。大学卒業後、民間特許事務所に3年半勤務。その後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。蓮舫(れんぼう)参議院議員の秘書を経て、2011年府中市議会議員に初当選。2015年2期目再選。
現在、基地等跡地対策特別委員会委員長 文教委員会委員 府中市民生委員推薦会委員 都市計画審議会委員 議会改革検討委員会委員 市民フォーラム所属

地域での主な活動

- ・公益社団法人むさし府中青年会議所会員・武蔵野府中ボーイズ名誉顧問
- ・けやき音楽祭2013JAZZinFUCHU実行委員長・UAゼンセン政治顧問

TEL & FAX 042-307-8309 mail suyama1980@gmail.com

HP <http://suyamatakehi.jp/>

ご意見
お待ちしております!



「府中市議会議員 須山たかし」で検索

